

農業経営財務分析システム

利用マニュアル

第1.0.0版

農林水産省 令和7年度経営発展・就農促進委託事業実施主体
株式会社QUICK

農業経営財務分析システム利用マニュアル改訂履歴

No.	版	更新日	取組内容	更新者
1	1.0.0	2024/12/16	初版	システム設計・構築事業者

目次

目次.....	1
1　目的・概要.....	2
2　本システム利用にあたって用意するもの.....	2
3　動作環境.....	2
4　利用方法.....	3
(1) 共通.....	3
(2) 法人経営.....	4
(3) 個人経営.....	9
5　財務指標の計算式.....	15
(1) 法人経営の財務指標.....	15
(2) 個人経営の財務指標.....	15
6　ランク区分の考え方.....	17
(1) 法人経営のランク区分	17
(2) 個人経営のランク区分	18
7　用語解説.....	19
(1) 法人経営.....	19
(2) 個人経営.....	20

1 目的・概要

農業経営財務分析システムは、農業経営者の皆様が、自らの経営の財務状況を分析し、改善に取り組むことを支援することを目的としたオンライン・システムです。

ご自身の決算書に記載の主な財務データを入力することで、①収益性、②安全性、③効率性・生産性に関連する財務指標が計算できます。

あわせて、農林水産省の統計データを用いて、同じ営農類型に属する経営体の財務指標との自動比較が行われ、他の経営体との比較による5段階のランク（低位、やや低位、中位、やや高位、高位）を表示します。他の経営体データと比較することで、自身の経営状況が理解でき、経営改善の検討に役立てることができます。

2 本システム利用にあたって用意するもの

- (1) 法人経営：損益計算書、貸借対照表等
- (2) 個人経営：青色申告書等

※ 事前登録等の手続きは不要です。

3 動作環境

デバイスごとのOSおよび推奨ブラウザは下記の通りです。

デバイス	OS	ブラウザ
Windows PC	Windows10、11	Google Chrome
Mac	macOS 13以降	Safari、Google Chrome
タブレット	iPad	iPadOS 15以降
	Android	Android 13以降
スマートフォン	iPhone	iOS 15以降
	Android	Android 13以降

4 利用方法

(1) 共通

トップ画面

【STEP 1（共通）】

農業経営財務分析システムのトップ画面にある「分析スタート」をクリックします。



経営形態の選択画面へ

【STEP 2（共通）】

ご自身の経営にあわせ「法人」又は「個人」を選択します。



- ① 法人経営 ⇒ [法人経営用の利用マニュアルへ \(P4~\)](#)
- ② 個人経営 ⇒ [個人経営用の利用マニュアルへ \(P9~\)](#)

(2) 法人経営

財務データ入力画面へ

【STEP 3（法人経営）】

ご自身の経営の営農類型を選択します。

農業経営財務分析システム

財務データ入力（法人）

【営農分類】 ?

<input type="radio"/> 水田	<input type="radio"/> 烟作	<input type="radio"/> 果樹	<input type="radio"/> 露地野菜	<input type="radio"/> 施設野菜	<input type="radio"/> 露地花き
<input type="radio"/> 施設花き	<input type="radio"/> 酒農	<input type="radio"/> 繁殖牛	<input type="radio"/> 肥育牛	<input type="radio"/> 営豚	<input type="radio"/> 採卵鶏
<input type="radio"/> プロイラー					

【STEP 4（法人経営）】

ご自身の経営の基礎情報（資本金、従業員数）を入力します。従業員数は臨時雇用者を除いた数（有給役員数+常用雇用者数）を入力します。

基本情報

【資本金】 ? 千円

【従業員数
(臨時雇用除く)】 ? 人

【STEP 5（法人経営）】

貸借対照表を用いて自らの経営の財務データを入力します。

貸借対照表

資産の部	負債の部
【流動資産計】 ? <input type="text"/> 千円	【流動負債計】 ? <input type="text"/> 千円
【固定資産計】 ? <input type="text"/> 千円	【固定負債計】 ? <input type="text"/> 千円
【繰延資産】 ? <input type="text"/> 千円	純資産の部 【純資産計】 ? <input type="text"/> 千円

【STEP6（法人経営）】

損益計算書や製造原価報告書などを用いて自らの経営の財務データを入力します。

損益計算書	
【売上高】	千円
【売上総利益】	千円
【営業利益】	千円
【経常利益】	千円
【税引前当期純利益】	千円
【当期純利益】	千円

【STEP7（法人経営）】

STEP4～6の入力情報が正しく入力されていることを確認した上で、「内容を確認する」をクリックします。

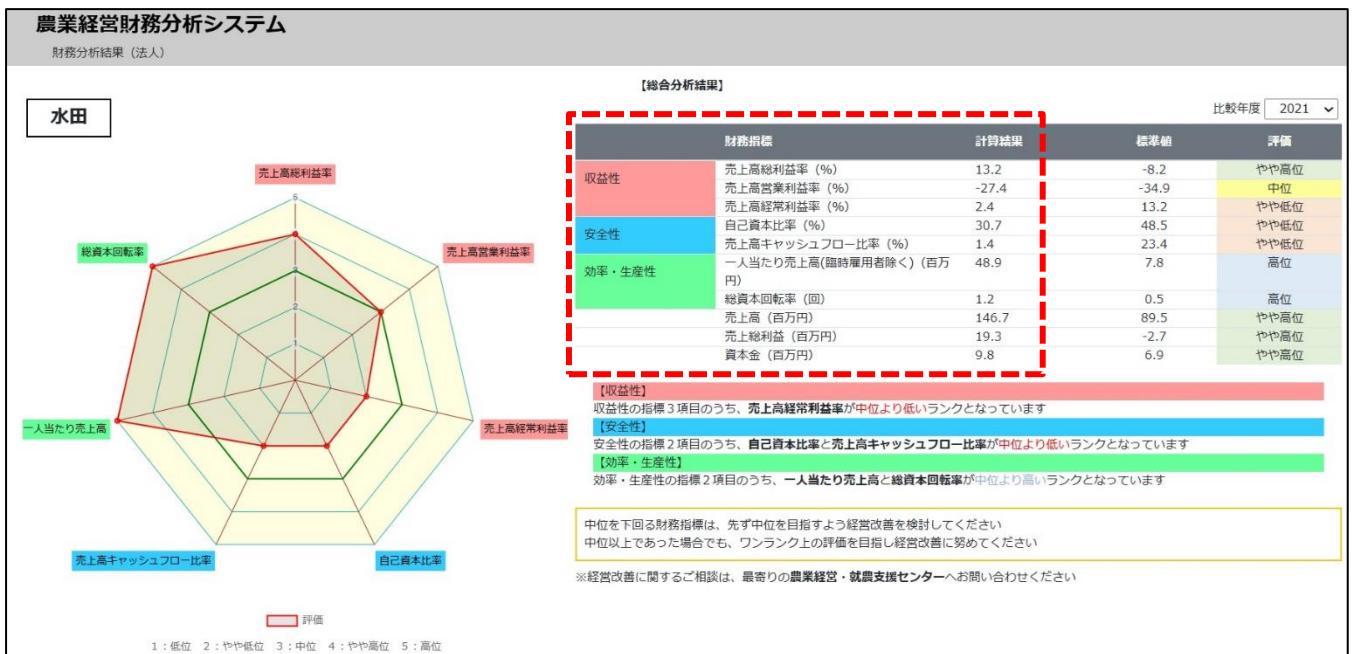
※「戻る」をクリックすると、経営体の選択画面に戻ります。それまで入力した数値は消えてしまいますのでご注意ください。

The screenshot shows a financial statement entry screen with various input fields for sales, gross profit, operating profit, etc. Two specific fields are highlighted with red boxes: one for sales volume and another for sales amount. A large blue button at the bottom right is labeled '内容を確認する >>'.

総合診断結果の表示画面へ（法人経営）

【STEP9（法人経営）】

入力データから計算された、①収益性、②安全性、③効率性・生産性に関連する財務指標が表示されます。

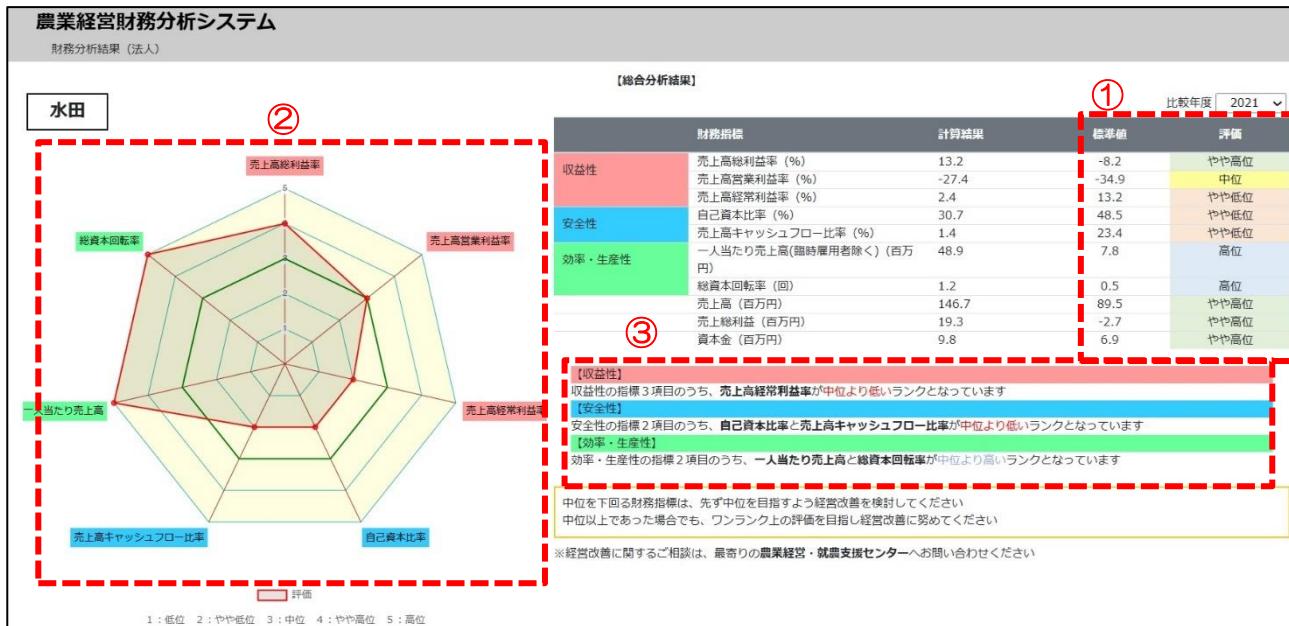


【計算される財務指標】

財務指標		計算式	概要
収益性	売上高総利益率 (%)	売上総利益 ÷ 売上高 × 100	販売している商品の利益率を示す。粗利益率とも言う。数値が高いほうが良い。
	売上高営業利益率 (%)	営業利益 ÷ 売上高 × 100	本業の収益性を示す。数値が高い方が良い。
	売上高経常利益率 (%)	経常利益 ÷ 売上高 × 100	本業以外も含めた企業全体の収益性を示す。数値が高い方が良い。
安全性	自己資本比率 (%)	自己資本 ÷ 総資本 × 100	中長期の財務安全性を示す。一般的に 30%以上が望ましいとされ、低いと財務基盤が脆弱であることを意味する。
	売上高キャッシュフロー比率 (%)	(税引後当期純利益 + 減価償却) ÷ 売上高 × 100	資金面の余裕を示す売上高に対するフリーキャッシュフロー（自由に利用可能な資金）の割合を示す。
効率性・生産性	総資本回転率 (回)	売上高 ÷ 総資本	総資本をどれだけ効率的に活用しているかを示す。一般的に 1.0 以上が望ましいとされる。
	一人当たり売上高 (臨時雇用者除く) (千円)	売上高 ÷ 従業員数	従業員一人当たりどれだけ効率的に売上高を生み出しているかを示す。数値が高い方が良い。

また、農林水産省の統計データ（営農類型別経営統計：令和3年、令和4年）を用いて同じ営農類型に属する法人経営体の財務データとの自動比較が行われ、

- ①他の経営体との比較による5段階のランク（低位、やや低位、中位、やや高位、高位）が表示されます。
- ②レーダーチャートでも財務指標のランク区分を表示されます。
- ③収益性、安全性、効率・生産性の財務指標の簡単な診断結果が表示されます。



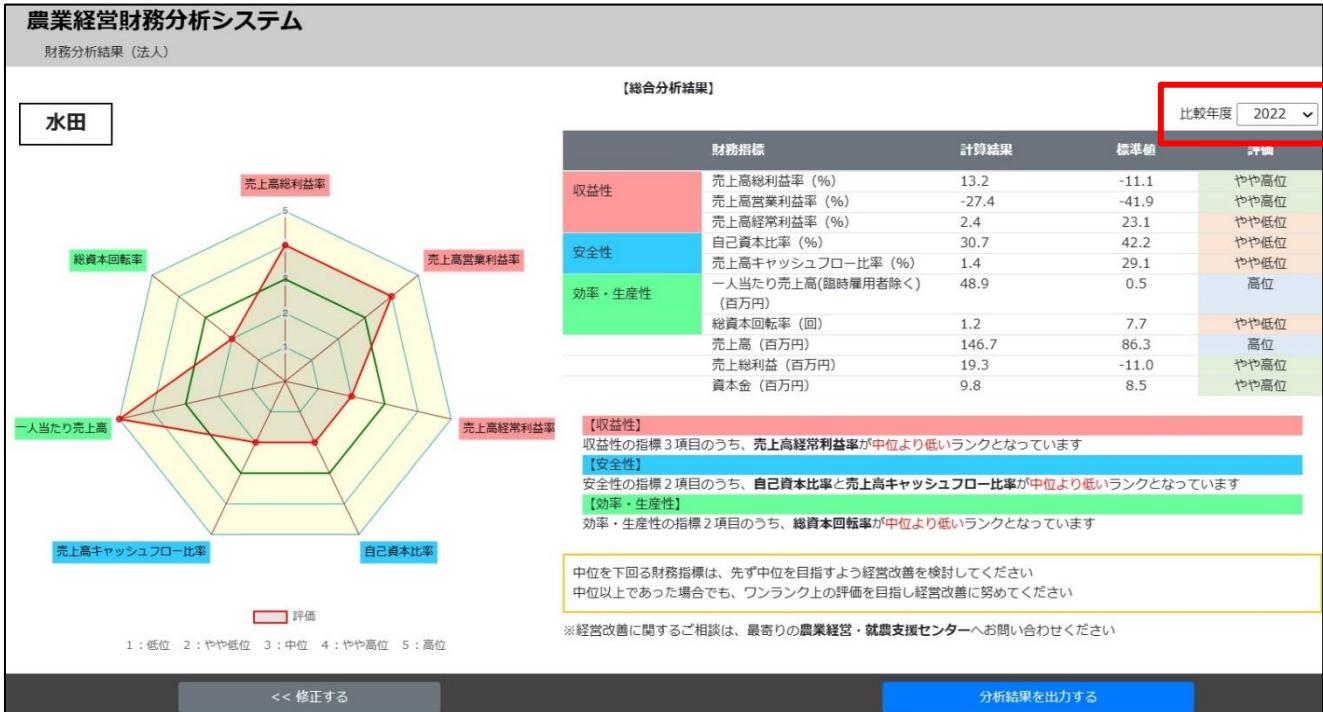
【ランク区分活用の際の留意点】

- 本ランク区分はご自身の経営を相対的に評価する目安としてご利用ください。
- 本ランク区分は特定年の統計データに基づくものであり、活用の際にはその年特有の状況も考慮する必要があります。
- 個々の農業法人の事業内容は様々であり、ランク区分が低いからといって必ず経営改善が必要ということではありません。

※ ランク区分の詳細な考え方については「[6. ランク区分の考え方](#)」を参照ください。

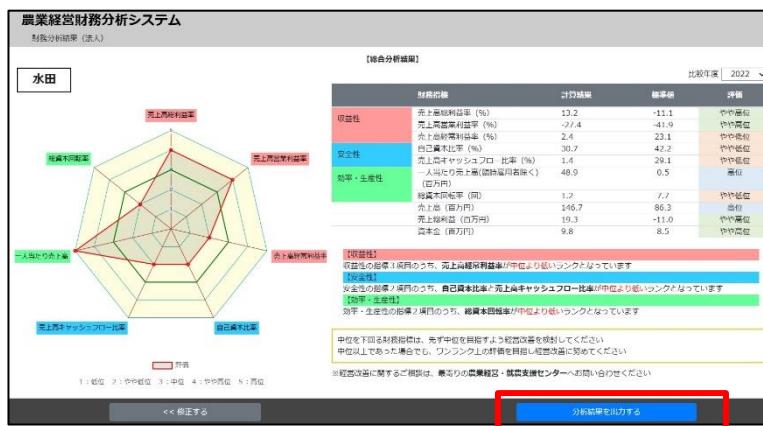
【STEP10（法人経営）】

ランク区分に用いる統計データを令和4年の農林水産省データに変更し、自身のランクを確認したい場合は、「比較年度」を「2022年」に変更します。



【STEP11（法人経営）】

「分析結果を出力する」をクリックするとPDFが出力されます。



分析結果を出力する

(3) 個人経営

財務データ入力画面へ

【STEP 3（個人経営）】

ご自身の経営の営農類型を選択します。

農業経営財務分析システム

財務データ入力（個人）

【営農分類】 ?

<input type="radio"/> 水田	<input type="radio"/> 畑作	<input type="radio"/> 果樹	<input type="radio"/> 露地野菜	<input type="radio"/> 施設野菜	<input type="radio"/> 露地花き
<input type="radio"/> 施設花き	<input type="radio"/> 酪農	<input type="radio"/> 繁殖牛	<input type="radio"/> 肥育牛	<input type="radio"/> 養豚	<input checked="" type="radio"/> 採卵鶏
<input type="radio"/> ブロイラー					

【STEP 4（個人経営）】

ご自身の経営の基礎情報（資本金、事業従事者数）を入力します。従業員数は臨時雇用者を除いた数（経営者十家族十常用雇用者数）を入力します。

基本情報

【農業従事者数（臨時雇用除く）】 ? 人

【STEP5（個人経営）】

青色申告書の損益計算書を活用して自らの経営の財務データを入力します。

損益計算書		
	科目	金額
収入金額	販売金額	?
	実務消費	千円
	事務消費	?
	雑収入	?
	うち 農作業受託収入	?
	小計	?
農産物の棚卸高	期首	?
	期末	?
	計	?
経費	租税公課	?
	種苗費	?
	畜畜費	?
	肥料費	?
	飼料費	?
	農具費	?
農業衛生	費	?
	諸材料費	?
	修繕費	?
	動力光熱費	?
経費	作業用衣料費	?
	農業共済掛金等 (共済掛金、価格補填負担金、収入保険の保険料等)	?
	減価償却費	?
	荷造運賃手数料	?
	雇入費	?
	利子割引料	?
	地代・貸借料	?
	土地改良費	?
	雜費	?
	その他	?
	小計	?
農産物以外の棚卸高	期首	?
	期末	?
	経費から差し引く 果樹牛馬等の育成費用	?
	計	?

【STEP6（個人経営）】

貸借対照表を用いて自らの経営の財務データを入力します。

貸借対照表		
資産の部		負債・資本の部
【資産計】	?	千円
	【負債計】	千円
	うち 借入金	千円
	【純資産計】	千円

【STEP7（個人経営）】

STEP4～6の入力情報が正しく入力されていることを確認した上で、「内容を確認する」をクリックします。

※「戻る」をクリックすると、経営体の選択画面に戻ります。それまで入力した数値は消えてしましますのでご注意ください。

立契台数表

区分	件数
戸別	12
アパート	12
ビル	12
店舗	12
事務所	12
その他	12
合計	12

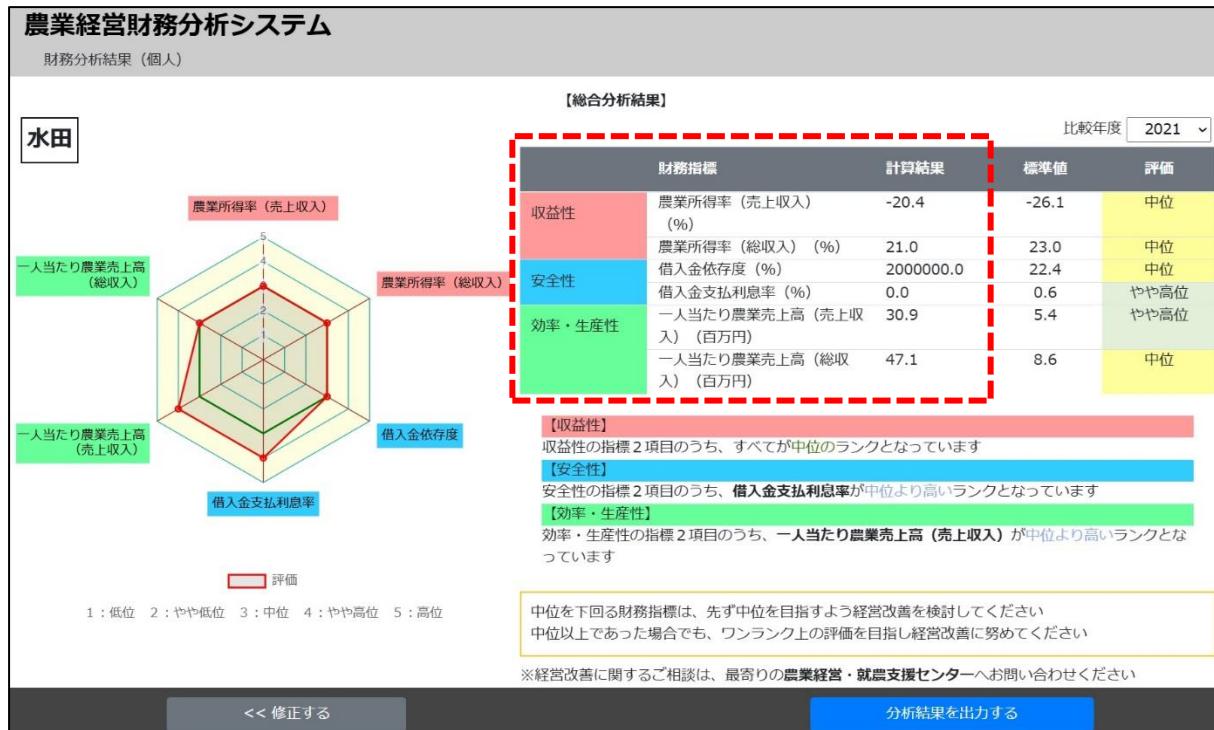
台帳一覧表示

登録番号	登録日	登録者名	登録内容
1	2023-01-01	田中 桂子	新規登録
2	2023-01-02	山田 太郎	新規登録
3	2023-01-03	鈴木 真理子	新規登録
4	2023-01-04	佐藤 亮介	新規登録
5	2023-01-05	高橋 由美子	新規登録
6	2023-01-06	林 雄二郎	新規登録
7	2023-01-07	川上 あやか	新規登録
8	2023-01-08	石井 一郎	新規登録
9	2023-01-09	岡田 みゆき	新規登録
10	2023-01-10	鈴木 ひかる	新規登録
11	2023-01-11	佐藤 まこと	新規登録
12	2023-01-12	高橋 みゆき	新規登録

総合診断結果の表示画面へ（個人経営）

【STEP7（個人経営）】

入力データから計算された、①収益性、②安全性、③効率性・生産性に関連する財務指標が表示されます。

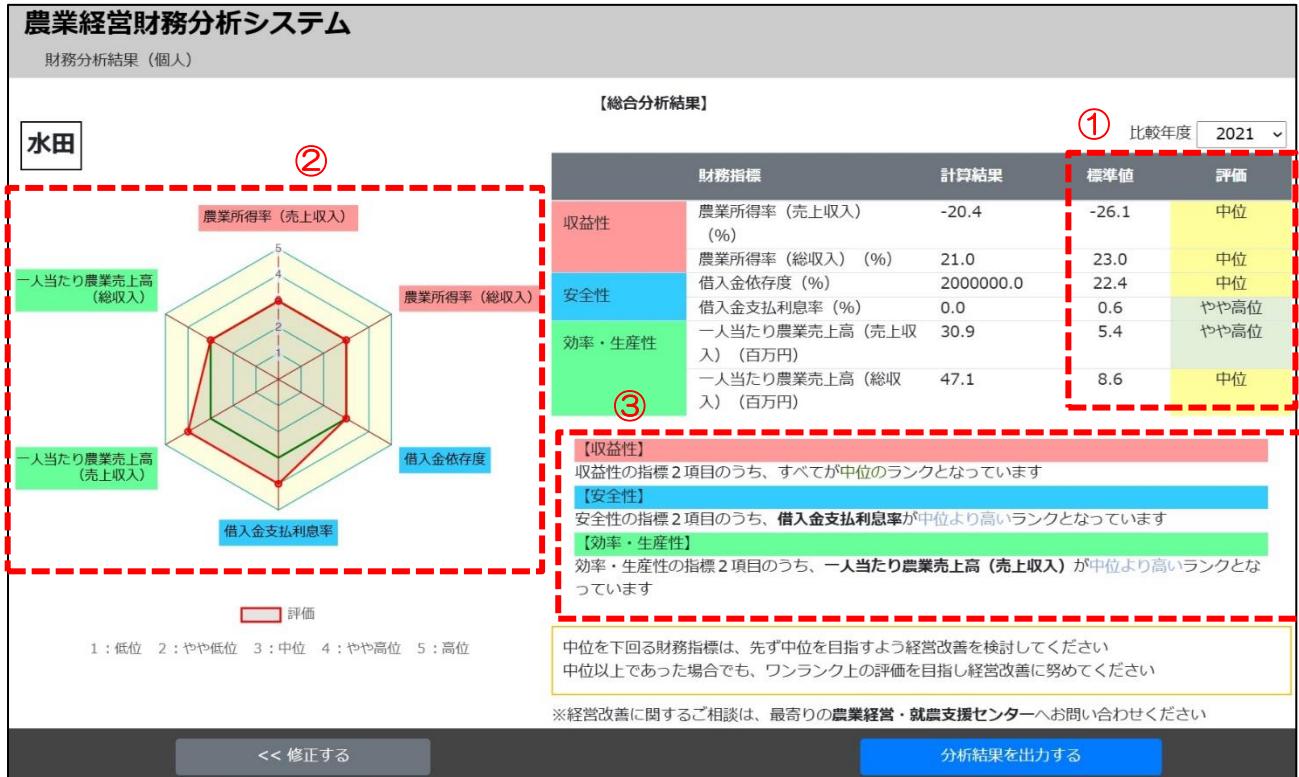


【計算される財務指標】

財務指標		計算式	概要
収益性	農業所得率（売上収入） (%)	農業所得 ÷ 農業粗収益 × 100	農産物の販売による収益性を示す。数値が高い方が良い。
	農業所得率（総収入） (%)	農業所得 ÷ 農業総収益 × 100	農産物販売以外も含めた経営全体の収益性を示す。数値が高い方が良い。
安全性	借入金依存度 (%)	借入金 ÷ 資産計 × 100	総資産に占める借入金の比率を示す。数値が低い方が良い。
	借入金支払利息率 (%)	利息割引料 ÷ 借入金 × 100	有利子負債の額の適正さを評価する。数値が低い方が良い。
効率性・生産性	一人当たり売上高（売上収入） (千円)	農業粗収益 ÷ 農業従事者数	従業員一人当たりどれだけ効率的に売上収入を生み出しているか示す。数値が高い方が良い。
	一人当たり売上高（総収入） (千円)	農業総収益 ÷ 農業従事者数	従業員一人当たりどれだけ効率的に経営全体の収益を生み出しているかを示す。数値が高い方が良い。

また、農林水産省の統計データ（営農類型別経営統計：令和3年、令和4年）を用いて同じ営農類型に属する経営体の財務指標との自動比較が行われ、

- ① 他の経営体との比較による5段階のランク（低位、やや低位、中位、やや高位、高位）が表示されます。
- ② レダーチャートでも自身の経営の財務指標のランク区分を表示します。
- ③ 収益性、安全性、効率・生産性の財務指標の簡単な診断結果を表示します。



【ランク区分活用の際の留意点】

- 本ランク区分はご自身の経営を相対的に評価する目安としてご利用ください。
- 本ランク区分は特定年の統計データに基づくものであり、活用の際にはその年特有の状況も考慮する必要があります。
- 個々の農業法人の事業内容は様々であり、ランク区分が低いからといって必ず経営改善が必要ということではありません。

※ [ランク区分の詳細な考え方については「6. ランク区分の考え方」を参照ください。](#)

【STEP10（個人経営）】

ランク区分に用いる統計データを2022年の農林水産省データに変更し、自身のランクを確認したい場合は、「比較年度」を「2022年」に変更します。

農業経営財務分析システム

財務分析結果（個人）

【総合分析結果】

水田

比較年度 **2022**

財務指標	計算結果	標準値	評価
収益性	農業所得率（売上収入） (%)	-20.4	-25.3 中位
	農業所得率（総収入） (%)	21.0	19.1 中位
安全性	借入金依存度 (%)	2000000.0	19.0 やや低位
	借入金支払利息率 (%)	0.0	0.6 やや高位
効率・生産性	一人当たり農業売上高（売上収入）（百万円）	30.9	4.3 やや高位
	一人当たり農業売上高（総収入）（百万円）	47.1	6.6 やや高位

【収益性】
収益性の指標2項目のうち、すべてが中位のランクとなっています

【安全性】
安全性の指標2項目のうち、**借入金依存度**が**中位より低い**ランクとなっています

【効率・生産性】
効率・生産性の指標2項目のうち、**一人当たり農業売上高（売上収入）**と**一人当たり農業売上高（総収入）**が**中位より高い**ランクとなっています

中位を下回る財務指標は、先ず中位を目指すよう経営改善を検討してください
中位以上であった場合でも、ワンランク上の評価を目指し経営改善に努めてください

※経営改善に関するご相談は、最寄りの農業経営・就農支援センターへお問い合わせください

<<修正する

分析結果を出力する

【STEP11（個人経営）】

「分析結果を出力する」をクリックするとPDFが出力されます。

農業経営財務分析システム

財務分析結果（個人）

【総合分析結果】

水田

比較年度 **2022**

財務指標	計算結果	標準値	評価
収益性	農業所得率（売上収入） (%)	-20.4	-25.3 中位
	農業所得率（総収入） (%)	21.0	19.1 中位
安全性	借入金依存度 (%)	2000000.0	19.0 やや低位
	借入金支払利息率 (%)	0.0	0.6 やや高位
効率・生産性	一人当たり農業売上高（売上収入）（百万円）	30.9	4.3 やや高位
	一人当たり農業売上高（総収入）（百万円）	47.1	6.6 やや高位

【収益性】
収益性の指標2項目のうち、すべてが中位のランクとなっています

【安全性】
安全性の指標2項目のうち、**借入金依存度**が**中位より低い**ランクとなっています

【効率・生産性】
効率・生産性の指標2項目のうち、**一人当たり農業売上高（売上収入）**と**一人当たり農業売上高（総収入）**が**中位より高い**ランクとなっています

中位を下回る財務指標は、先ず中位を目指すよう経営改善を検討してください
中位以上であった場合でも、ワンランク上の評価を目指し経営改善に努めてください

※経営改善に関するご相談は、最寄りの農業経営・就農支援センターへお問い合わせください

<<修正する

分析結果を出力する



5 財務指標の計算式

「農業経営財務分析システム」で計算される各財務指標の計算式は以下のとおりです。

(1) 法人経営の財務指標

<収益性>

- ◆ 売上高総利益率 (%) = 売上総利益／売上高×100
- ◆ 売上高営業利益率 (%) = 営業利益／売上高×100
- ◆ 売上高経常利益率 (%) = 経常利益／売上高×100

<安全性>

- ◆ 自己資本比率 (%) = 自己資本／総資本
 - 自己資本 = 純資産計
 - 総資本 = 負債計+純資産計
- ◆ 売上高キャッシュフロー比率 (%)
= (税引き後当期純利益+減価償却費)／売上高×100

<生産性・効率性>

- ◆ 総資本回転率 (回) = 売上高／総資本
- ◆ 1人当たり売上高(臨時雇用者除く) (千円) = 売上高／従業員数
 - 従業員数 = 有給役員数+常用雇用者数

(2) 個人経営の財務指標

<収益性>

- ◆ 農業所得率(売上収入) (%)
= ①農業所得(売上収入)／②農業粗収益×100

$$\text{①農業所得(売上収入)} = \text{②農業粗収益} - \text{③農業経営費}$$

$$\text{②農業粗収益} = \text{販売金額} + \text{家計・事業消費} + \text{農作物棚卸高(期末一期首)} \\ + \text{農作業受託収入} \quad (\text{※雑収入のうち法人では「売上高」に計上されるもの})$$

$$\text{③農業経営費} = \text{経費合計} \quad (\text{※農業共済掛金等の項目に価格補填負担金、収入保険の保険料等の支出を含む}) + \text{雑費} + \text{農産物以外棚卸高(期首一期末)} \\ - \text{牛馬等育成費用}$$

✧ 農業所得率（総収入）（%）

$$= ①\text{農業所得（総収入）} / ②\text{農業総収益} \times 100$$

$$①\text{農業所得（総収入）} = ①\text{農業総収益} - ③\text{農業経営費}$$

$$②\text{農業総収益} = \text{販売金額} + \text{家計・事業消費} + \text{雑収入} \\ + \text{農作物棚卸高（期末一期首）}$$

$$③\text{農業経営費：農業所得率（売上収入）} ③\text{と同じ}$$

<安全性>

✧ 借入金依存度（%）＝ 借入金／資産計 × 100

✧ 借入金支払利息率（%）＝ 利息割引料／借入金 × 100

<生産性・効率性>

✧ 1人当たり売上高（売上収入）（千円）

$$= \text{農業粗収益} / \text{農業従事者数（経営者+家族+常用雇用者）}$$

✧ 1人当たり売上高（総収入）（千円）

$$= \text{農業総収益} / \text{農業従事者数（家族+常用雇用者）}$$

6 ランク区分の考え方

「農業経営財務分析システム」では、農林水産省の営農類型別統計のデータを用いて、
営農類型別に各財務指標について5段階のランク区分を作成しています。

ランク区分設定の詳細な方法を以下に記載します。

(1) 法人経営のランク区分

① 使用データ（サンプルデータ）

農林水産省の「営農類型別経営統計」のうち、各営農類型における売上高1,000万円以上の法人経営体。

② 経営規模によるグループ分け

同一の営農類型のサンプルデータでも、様々な経営規模の法人が含まれることから、経営規模（総資産）に基づき、財務指標に明確な違いが認められる場合は、大規模と中小規模に分けてランク区分を作成しています。

具体的には、上記のサンプルデータの総資産の規模の四分位点を用いて、75パーセンタイル以上（上位1/4）のサンプルを大規模、それ未満を中小規模とする2グループに分け、各財務指標でt検定を実施しました。

t検定で有意差が確認できれば、大規模と中小規模の2グループに分けランク区分を設定し、有意差が確認できない場合は規模区分は設定していません。

また、サンプル数が合計で30を下回る場合には規模区分は設定していません。

③ 特異値の除外

営農類型や規模別で分類した上で、それぞれのグループで各財務指標を計算し、標準偏差（ σ ）を算出します。標準正規分布を仮定して 3σ の範囲に収まらないサンプルについては外れ値として除外しています。

④ ランク区分（5段階）の設定

標準正規分布を仮定した場合、標準値（平均値）から ± 0.25 倍した標準偏差（ σ ）の範囲に約20%のサンプルが分布し、標準値 $\pm 1.25\sigma$ 範囲内に約80%のサンプルが分布する特性を利用して以下の5段階のランク区分を作成しています。

- ◆ 低位 : ($x < \text{標準値} - 1.25\sigma$)
- ◆ やや低位 : ($\text{標準値} - 1.25\sigma \leq x < \text{標準値} - 0.25\sigma$)
- ◆ 中位 : ($\text{標準値} - 0.25\sigma \leq x < \text{標準値} + 0.25\sigma$)
- ◆ やや高位 : ($\text{標準値} + 0.25\sigma \leq x < \text{標準値} + 1.25\sigma$)
- ◆ 高位 : ($\text{標準値} + 1.25\sigma < x$)

(2)個人経営のランク区分

①使用データ（サンプルデータ）

主業経営体（農業所得が主（世帯所得の50%以上が農業所得）で、1年間に自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいる個人経営体）のうち貸借対照表を策定している経営体。

②特異値の除外

営農類型で分類した上で、各営農類型ごとに財務指標を計算し、標準偏差(σ)を算出します。標準正規分布を仮定して 3σ の範囲に収まらないサンプルについては外れ値として除外しています。

③ランク区分（5段階）の設定

標準正規分布を仮定した場合、標準値（平均値）から ± 0.25 倍した標準偏差(σ)の範囲に約20%のサンプルが分布し、標準値 $\pm 1.25\sigma$ 範囲内に約80%のサンプルが分布する特性を利用して以下の5段階のランク区分を作成しています。

- ◆ 低位 : ($x < \text{標準値} - 1.25\sigma$)
- ◆ やや低位 : ($\text{標準値} - 1.25\sigma \leq x < \text{標準値} - 0.25\sigma$)
- ◆ 中位 : ($\text{標準値} - 0.25\sigma \leq x < \text{標準値} + 0.25\sigma$)
- ◆ やや高位 : ($\text{標準値} + 0.25\sigma \leq x < \text{標準値} + 1.25\sigma$)
- ◆ 高位 : ($\text{標準値} + 1.25\sigma < x$)

※借入金依存度と借入金支払利息率については、数値が低い方が望ましいことから、数値が低いほうが高位となるようランク区分を逆にしている。

7 用語解説

(1) 法人経営

項目	説明
営農分類	複数の営農類型で営農して場合は販売収入が最も多い類型を選択
資本金	株主等、出資者が拠出した資金
従業員数(臨時雇用除く)	有給役員数十常用雇用者数
流動資産計	1年以内に現金化することが可能な資産の合計 現金、預金、売掛金、商品、原材料、未収入金等
固定資産計	1年以上保有する資産の合計土地・建物、商標権、投資有価証券等
繰延資産	創立費、開発費等、複数期に分けて計上する費用
流動負債計	1年以内に支払うことが予定されている負債の合計。買掛金、短期借入金、未払金等
固定負債計	1年以内に支払い義務が発生しない負債の合計。長期借入金
純資産計	資本金、資本剰余金、利益剰余金等の合計
売上高	売上の合計
売上総利益	売上高から売上原価を差し引いた金額
営業利益	売上総利益から販売及び一般管理費を差し引いた金額
経常利益	営業利益に営業外収益を加え、営業外費用を差し引いた金額
税引前当期純利益	経常利益に特別利益を加えて、特別損失を差し引いた金額
当期純利益	税引前当期純利益から法人税・住民税・事業税を差し引いた金額
減価償却費（売上原価）	製造原価報告書に計上された減価償却費の合計
減価償却費（販管費）	販売費及び一般管理費に計上された減価償却費の合計
売上高総利益率（%）	販売している商品の利益率を示す。粗利益率とも言う
売上高営業利益率（%）	本業の収益性を示す
売上高経常利益率（%）	本業以外も含めた企業全体の収益性を示す
自己資本比率（%）	中長期の財務安全性を示す低いと財務基盤が脆弱であることを意味する
売上高キャッシュフロー比率（%）	資金面の余裕を示す売上高に対するフリーキャッシュフロー（自由に利用可能な資金）の割合
1人当たり売上高（千円）	従業員一人当たりどれだけ効率的に売上高を生み出しているかを示す
総資本回転率（回）	総資本をどれだけ効率的に活用しているかを示す

(2)個人経営

項目	説明
営農分類	複数の営農類型で営農を行っている場合は販売収入が最も多い類型を選択
従業員数（臨時雇用除く）	経営主+家族+常用雇用者数
販売金額	農畜産物の販売額の合計
実務消費 事務消費	農産物を家計や農業以外の事業で消費した金額
雑収入	作業受託料、経営所得安定対策交付金、価格補填金、受取共済金等
うち農作業受託収入	農作業受託による収入額
農産物の棚卸高 期首	期首時点未販売の農産物の棚卸高
農産物の棚卸高 期末	期末時点未販売の農産物の棚卸高
租税公課	農業に係る固定資産税、印紙税、組合・部会費、支払消費税等
種苗費	種子、苗の購入費
素畜費	肥育又は育成の素畜やヒナの代金、種付料、登録料
肥料費	肥料の購入費
飼料費	飼料の購入費
農具費	取得価額10万円未満又は耐用年数1年未満の農具の購入費
農薬衛生費	農薬・家畜薬品等の購入費や共同防除費
諸材料費	ビニール、縄、釘等の諸材料の購入費
修繕費	農業機械、車両、建物、施設等の修理費
動力光熱費	電気料、水道料、ガス代、ガソリン等の燃料費
作業用衣料費	作業衣、靴、帽子等の購入費
農業共済掛金等 (共済掛金、価格補填負担金、収入保険の保険料他)	農業共済掛金、価格補填負担金、収入保険の保険料等
減価償却費	農用建物、農機具、車両、生物等固定資産の減価償却費
荷造運賃手数料	販売に要したダンボール等の資材代金、運賃、検査料等
雇人費	雇用労賃及び賄い費・交通費
利子割引料	借入金利息、手形割引料、債務保証料等
地代・賃借料	農地代、農用建物代金、共同施設の利用料等
土地改良費	客土・揚排水施設等の維持管理費

雑費	上記の各経費にあてはまらない費用
農産物以外の棚卸高 期首	未収穫農産物、販売用動物、種苗、肥料・農薬等の期首の棚卸高
農産物以外の棚卸高 期末	未収穫農産物、販売用動物、種苗、肥料・農薬等の期末の棚卸高
経費から差し引く果樹牛馬等の育成費用	未成熟果樹や育成牛等の育成に要した費用
資産合計	現金、預金、売掛金等の流動資産と土地・建物等の固定資産の合計
負債計	【買掛金】+【借入金】+【未払金】+【前受金】+【預り金】+【貸倒引当金】
うち借入金	【借入金】の合計
純資産計	【事業主借】+【元入金】+【青色申告特別控除前の所得金額】
農業所得率（売上収入）	農産物の販売による収益性を示す
農業所得率（総収入）	農産物販売以外も含めた経営全体の収益性を示す
借入金依存度	総資産に占める借入金の比率を示す
借入金支払利息率	有利子負債の額の適正さを評価する指標
1人当たり農業所得（売上収入）	従業員一人当たりどれだけ効率的に売上収入を生み出しているか示す
1人当たり農業所得（総収入）	従業員一人当たりどれだけ効率的に経営全体の収益を生み出しているかを示す